

よりよい学校づくりをめざす評価の在り方

下関市立長府小学校
下関市立吉田小学校
豊浦町立小串小学校

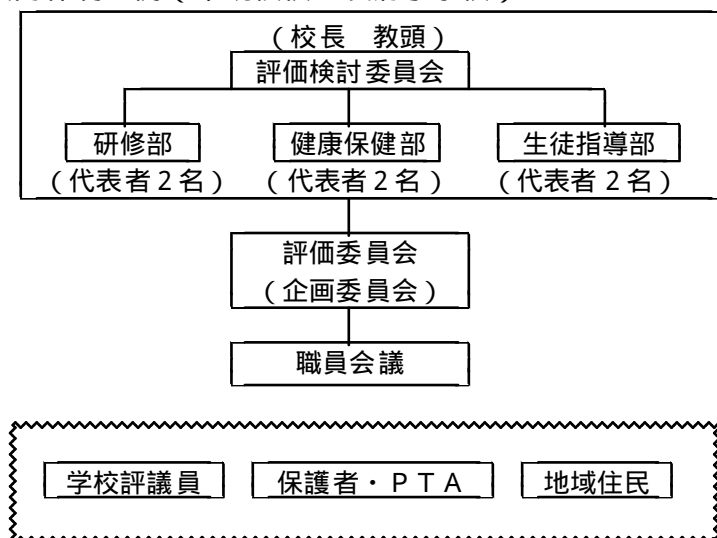
1 評価体制

学校評価を進めていくには、校長のリーダーシップの下、全教職員で取り組む校内体制をつくり、評価項目や評価基準の設定、評価結果の分析等を行うとともに、地域環境を含めた学校教育全体のあらゆる角度からの意見が集約できるように組織化する必要がある。

また、組織・体制づくりをしていく際には、学校規模や地域環境等の学校の実情に応じた機能性、実効性のあるものをつくるのが大切となる。そのためには、常日頃からの効果的な情報公開、情報発信が欠かせないものとなってくる。

(1) 学校評価委員会等の体制の整備

ア 校内体制の例（中規模校：長府小学校）



評価検討委員会

3つの部の代表者各2名と校長、教頭の8名で構成し、学校評価の評価項目や基準の設定、結果の分析、改善の取組み等の原案を作成する。

各部会（3部会）

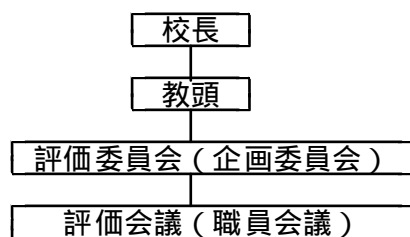
知・徳・体の3領域に関わりのある分野の話し合い活動、提案・実践の中核となる。

評価委員会（企画委員会）

学校評価に関する原案を検討する。

時間の有効利用、機能性ということから考え、場合によっては、評価検討委員会を経ないで直接、評価委員会へ提案し、職員会議で協議することもある。

イ 校内体制の例（小規模校：小串小学校）



評価委員会

校長、教頭、教務主任の3名で原案を作成する。企画委員会を兼ねる。

評価会議

職員会議の中で全教職員が協議し、共通理解を図る。

(2) 保護者や地域社会との連携

ア 情報公開・情報発信の推進

保護者や地域の方々には的確な学校評価を行ってもらうためには、常日頃から学校の情報をしっかり公開し、発信していくことが重要となる。例えば担任が行う連絡帳や電話連絡などから始まり、学校だより、学年通信、学級通信などを使って保護者や地域の方に、学校が行っていることや考え方などをできるだけ具体的に知ってもらうことが大切である。そのためには、学校だよりや生徒指導だよりなどはできるだけ広範囲に配布する努力を惜しんではならないと考えている。

また、従来からある学校要覧を見直し、保護者や地域の方々へ学校の取組みを分かりやすく説明する方策として活用することもできる。

【平成16年度 学校要覧（長府小学校）】



こんな取り組みを行います

（目標達成のための）

学校経営

- 1 学校評価を推進し、保護者や地域、子供たちの意見を生かすように努力します。
- 2 チャレンジ目標達成のために、具体的な方法で取り組みます。
- 3 保護者・地域との連携や情報公開・情報発信を積極的に推進し、開かれた学校づくりに努めます。
- 4 専門教員としての責任と使命を自覚し、教職員の資質の向上・協力体制の確立に努めます。



あいさつ運動

学習指導

- 1 基礎学力の充実に努め、自ら学ぶ力を育てることに努めます。
- 2 道徳教育、人権教育、ボランティア教育、図書館教育などを充実させ、自他の思いを大切にすることを育成します。
- 3 少人数指導や教科担任制などを実施し、個性に応じた教育を展開します。
- 4 コンピューターなどを活用したり、外国の指導助手を招いたりして、情報化・国際化に対応した教育を推進します。



みどり園訪問

生徒指導・教育相談

- 1 自分の力で成長する自己教育力を身に付ける指導を行います。
- 2 教育相談担当を中心にいじめなどの心の悩みを解消し、温かく、安心して学べる学校を目指します。



緑珠祭（開校記念行事）

保健・体育指導

- 1 体育の指導や休み時間の外遊び等を通して、日常的な運動の習慣化を目指します。
- 2 食に関する指導に積極的に取り組みます。



教育環境等

- 1 豊かでうるおいのある教育環境の整備・充実に努めます。
- 2 自分たちの学校を誇りに思い、進んで清掃や作業に取り組む児童を育てます。

イ 教育モニター制の導入

児童の生活実態の的確な把握のためには、学校生活のみならず家庭や地域社会における生活の状況を知ることが大切である。しかし、家庭や地域社会における生活実態については、教職員がすべてを把握することには限界がある。

そこで、小串小学校では年度はじめのPTA常任委員会において、各自治会委員に教育モニターを依頼し、実態の把握に努めている。

具体的には、12名の委員に各観点ごとの評価と自由記述により児童の生活実態を記入した「モニター用紙」を提出してもらっている。届けられた情報は生徒指導主任を中心に分析し、教職員全員で共通理解するとともに諸課題への対応を図っている。

入手した情報や分析結果については、個人のプライバシーに十分配慮した上で、学校だより等により全世帯に公表している。公表することにより、「子どもたちをみんなで育てる」という意識を学校・家庭・地域社会全体で共有しようとしている。

【学校だよりでの「教育モニター」結果の公表】

地域の申で育つ子どもたち

「小串小学校 交通安全・生徒指導連絡協議会」開催

7月14日(水) 警察署、交通安全協会、公民館、自治会連合会、育成町民会議、幼稚園、育友会、自治会委員の方々をお招きして行いました。夏休みを前に、子どもたちの地域での様子・交通安全などについて話し合いました。毎月の教育モニターでも意見が出ているように、自転車の乗り方、飛び出し、遊び場所についての意見が出ました。小串地域のだれもが願っていること、それは子どもたちの安全であることを大変強く感じました。

これから長い夏休みになります。海水浴場もあり、また国道の交通量も増えてきます。路地から飛び出さずにしっかりと安全確認をすること、自転車の正しい乗り方をすることなど親子で話し合いをしてください。

教育モニター より

(……よい ……あまりよくない)

学校外生活		4月		5月		6月		計	
地区での生活	危険な遊び	1	3	3	1	5	2	9	6
	あいさつ	1	0	4	1	5	2	10	3
	自転車の乗り方	1	4	2	2	3	2	6	8
	帰宅時刻	0	2	3	3	6	2	9	7

この表は、毎月の教育モニター「小串っ子」の中から、「地区での生活」について報告していただいたものをまとめたものです。自転車の乗り方について一番危惧しておられることが伝わってきます。

教育モニター より

登下校時、だれにでもきちんとあいさつができています。
新1年生の歓迎会をしました。子どもが減って寂しいですが、とてもよい会でした。
明るくなってきて、6時すぎ、7時頃まで遊んでいる姿を見かけます。

6時には家に帰っているよう、もう一度指導しました。

【教育モニター依頼文】

教育モニターについて（依頼）

新緑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校の教育振興にご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様におかれましては、平成16年度の育友会自治会委員として活動いただくことになりました。子どもたちの生活について、地域・育友会・学校が連携して指導にあたるためにも皆様方のお力添えをいただきたいと考えます。

学校としましては、子どもたちの地域での様子を把握し、適時指導することが大切だと考え、平成12年度より教育モニター委員による連携指導を取り入れることにしました。問題点だけでなく、子どもたちのよい面や地域での様子などについて情報をいただきたいと思います。

学校・家庭・地域社会との連携を一層強化し、子どもたちを取り巻く環境の浄化に努めたいと考えます。育友会自治会委員の皆様には、下記の要領で教育モニターをお願いいたします。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

記

- 1 教育モニター「小串っ子」の提出
 - ・月末に配布しますので、ご記入の上、配布しました封筒に入れお子様を通じて学校へご提出ください。
 - ・FAXでの提出でもかまいません。 FAX
- 2 「小串っ子」の内容
 - 地域での子どもたちの生活の様子について記入してください。
 - ・いじめを含めた問題行動 ・登下校の様子 ・善行 ・学校への要望 他

【教育モニター記入用紙】

教育モニター「小串っ子」 () 月分

教育モニター委員氏名	自治会名

分かる範囲で、 、 をご記入ください。

学校外生活 (……よい ……あまりよくない)					
登校の様子	集合時刻		仲良く集団登校		あいさつ
下校の様子	交通ルール		決まった通学路		あいさつ
地区での生活	危険な遊び		自転車の乗り方		あいさつ
	帰宅時刻				

月	日	子どもの様子	子ども会活動での様子、善行、問題行動、不安なことや気になることなどを記入してください。

* 登校時や下校時の様子など、学校では把握できにくい児童の様子をお知らせください。
また、学校への要望がありましたら、具体的にご記入ください。 FAX

2 学校評価計画の作成

学校評価推進のために、評価に関する会議、評価の実施、評価結果の公表や改善等の年間スケジュールを年度当初に示し、全教職員が共通理解するために学校評価年間計画を作成している。

取組みの1年次は学校評価体制を整備していくために、話し合いの割合が多くなるが、具体的な評価活動と並行して進めていくとよい。

【学校評価年間計画表の例】

(1年次) 平成15年度 学校評価計画 下関市立長府小学校

月	推 進 状 況	学 校 評 価 の 実 施
4	<ul style="list-style-type: none"> 本年度学校教育基本構想の提案(校長) 本年度の組織・学校評価計画の提案 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学校評価を基盤とした取組みの基本 1 学校経営への学校評価を中心としたP D C Aシステムの導入 2 積極的情報公開・情報発信 3 保護者・地域との連携 </div>	
5	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営案(評価やスケジュールを組み込んだもの)の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営案の作成
6	<ul style="list-style-type: none"> 県学校評価システム調査研究会議(県の方向性の確認) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 学年末自己評価(教職員用)外部評価(児童用、地域・保護者用)の様式検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営案による1学期評価
8	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価の研究 (児童による自己評価、授業評価、来客者アンケート) 	
9	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開・情報発信のあり方についての検討 地域や保護者との連携のあり方についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ目標達成のための児童の自己評価
10	<ul style="list-style-type: none"> 第1回実践協力校連絡会議 評価を改善策に結びつける方法の検討 (評価数値、自由記述、総合的に) 参観日意見用紙についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> 来校者アンケート開始 授業評価(全教員) 考察・改善策の設定
11	<ul style="list-style-type: none"> 学校要覧の検討 先進校視察 P D C Aを組み込んだ行事提案の方法についての研修 	<ul style="list-style-type: none"> 参観日意見用紙使用開始
12	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の取組みの確認 (年度末学校評価の実施及びまとめ方等) 第2回実践協力校連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ目標達成のための児童の自己評価 学級経営案による2学期評価
1	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の学校要覧の検討 来年度の掲示教育の検討 教職員がP T A行事や地域行事の参加度を高めるための検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学年末自己評価(教職員) 学年末外部評価(児童、保護者・地域、学校評議員)
2	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの開設、学校紹介ビデオの作成検討 学年末評価の分析・考察、協議による来年度方針の決定 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価及び来年度の基本方針公開(P T A総会、校報) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営案による学年末評価

平成16年度 学校評価計画

(2年次)

下関市立長府小学校

月	推 進 予 定	学 校 評 価 の 実 施
4	<ul style="list-style-type: none"> 本年度学校教育基本構想の提案(校長) 本年度の組織・学校評価計画案・取組み重点の提案(職員会議) 	<ul style="list-style-type: none"> 来校者アンケート(年間を通して)
5	<ul style="list-style-type: none"> 学級・専科経営案の検討(検討委員会) 学校要覧の作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> 学級・専科経営案の作成
6	<ul style="list-style-type: none"> 各学校評価についての検討(各部会・検討委) (ねらい、実施方法・時期、項目の適否、効果的な生かし方等) 地域との連絡協議会の開催 中学校との連絡会の開催(1回目) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 年度末学校評価についての検討(各部会) (項目の適否、評価のまとめ方と効果的な生かし方等について) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価 児童の自己評価 経営案の自己評価
8	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価についての研修(職員会議) 情報公開・情報発信についての研修 保護者・地域との連携についての研修 授業評価の考察・改善策立案(各担任・専科) 経営案の自己評価における考察・改善策立案(各担任・専科) 	
9	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の取組みのまとめと2学期の学校評価の取組みについての確認(職員会議) 地域への公開参観日(緑珠祭) 	
10	<ul style="list-style-type: none"> 年度末学校評価のうち、保護者・地域用の項目についての意見聴取 (PTA常任委員会) 	
11		
12	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価に基づいた考察と改善策立案 経営案の自己評価に基づいた考察と改善策立案(各担任・専科) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価 児童の自己評価 経営案の自己評価
1	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の学校評価の取組みのまとめと3学期の取組みについての確認(職員会議) 年度末学校評価についての依頼 (保護者、地域住民、学校評議員等) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末学校評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 教職員、児童 保護者・地域住民 学校評議員等 </div>
2	<ul style="list-style-type: none"> 中学校との連絡協議会(2回目) 年度末学校評価のまとめ ～数値分析・グラフ化・意見の集約・考察～ 学校評価のまとめに基づく来年度の取組み (検討委 評価委 職員会議) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自己評価 経営案の自己評価
3	<ul style="list-style-type: none"> 16年度学校評価の公開 (年度末PTA総会、校報「緑珠台」) 	

3 具体的評価活動

(1) 年度末における評価

学校評価活動において、年度末の学校評価は、1年間を振り返り、来年度の方針を決定するための資料となる重要なものである。教職員による自己評価だけでなく、児童や保護者等による外部評価を積極的に導入し、客観性を高めていくことが重要である。

実施時期としては、集計や来年度の方針等について検討する時間を確保するとともに、保護者や地域住民等に対して、評価結果や来年度の方針を公表していくことも考慮しながら計画的に実施することが大切である。

また、質問項目については、先進校の項目を参考にすることも考えられるが、それぞれの学校の実態や教育目標に応じた独自のものを設定していくことが重要である。

ア 教職員による点検

点検項目は全部で61項目、学校の全教育活動を網羅的に設定している。チャレンジ目標などの重点項目に絞って実施する方法もあるが、年度末ということもあり教育活動全般について振り返るようにしている。(P.12~14 教職員用点検表 参照)

イ 児童による評価

児童用については、アンケートの趣旨を学年段階に応じてよく理解させて実施することが大切である。また、低学年の児童には、判断がむずかしい項目については質問項目から外すなどの配慮が必要となる。

項目については、学校生活での自己評価、学校における人的環境(教師や児童)、学校での物的環境に関することが考えられるが、評価表の中で分けておいたことがアンケートを集計・考察する際に大変役立った。(P.15~16 児童用評価表 参照)

ウ 保護者・地域住民等による評価

保護者・地域住民用については、調査対象について校内でよく協議しておく必要がある。小規模の学校では保護者全員からの評価も可能であるが、大きな学校ではPTA役員などの一部を抽出して実施する方法も考えられる。加えて、学校評議員など学校に関わりの深い方あるいは地域で希望する方などにも協力を求め、門戸を開いておくことが大切である。

また、無記名での回答も考えられるが、長府小学校では、責任ある建設的な意見を求めるといふねらいから、記名での回答とした。

質問項目の設定においては、無作為に項目を配列するよりは、教育目標から学校経営、学習指導・評価というように大項目ごとに整理して配列する方が、集計や考察を加えるときに都合がよい。できれば、年度当初に設定したねらいや取り組み内容に沿って配列するのが望ましい。

さらに、自由記述の欄を設けて、高い評価や低い評価の理由、また、具体的な改善案をできるだけ記載してもらい、今後の改善に結びつけることが重要である。

(P.17~18 保護者・地域住民用評価表 参照)

学校運営

A 教育目標

共通理解・共同実践		評価	意見等
1	学校教育目標の共通理解は図れているか。		
2	努力点達成のための取組みを実践しているか。		
3	全体計画・年間計画に基づいた実践ができているか。		
4	教育活動全体に渡って評価を行い、次年度に生かし改善するようになっているか。		

B 指導体制

組織づくり		評価	意見等
5	努力点達成をめざす分掌組織になっているか。		
6	学年・学級相互の連絡が円滑で、学校全体として意欲や力を発揮できる組織になっているか。		
7	職員会議で話し合われたことが教育活動や学校運営に生かされているか。		
8	分掌ごとの話し合いができており、組織が機能しているか。		
危機管理体制			
9	安全点検は計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。		
10	事件・災害・生徒指導に対し、全教職員が意思統一を図り、適切な対応ができているか。		

C 経営組織

環境整備		評価	意見等
11	教室や廊下等、教育環境は計画的に整備されているか。		
12	学級園・学校園等、校地内は美しく整備されているか。		
施設設備・財務関係			
13	施設・設備を、教育の場で、よく活用できているか。		
14	校地・校舎の維持管理について、教職員が協力して実践しているか。		
15	予算の編成・執行等の方法や手続きは適正に行われているか。		

D 研修

校内研修		評価	意見等
16	研修主題(表現力の育成)に沿った校内研修は計画的にできているか。		
17	校内研修の成果は、日常の教育実践の場に生かされているか。		
18	教職員が共に高め合う研修を推進するために意見交換はよくできているか。		
19	授業研究会や同学年研修等を通して、指導力は向上しているか。		
20	自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動は展開できているか。		

E 開かれた学校づくり

情報の発信		評価	意見等
21	保護者 や地域への情報発信は十分にできたか。		
22	総合的な学習の時間の目的及び内容は、保護者に理解されるように努めたか。		
保護者・地域との連携			
23	幼・保・中学校との連携を図ることはできたか。		
24	保護者 や地域の人々と接する機会を多くもつとともに意見を十分聞いているか。		
25	地域の施設・人材や地域教材の活用はできたか。		
26	地域行事への参加はできているか。		

教育指導

F 学力の向上

基礎・基本の定着		評価	意見等
27	基礎的・基本的な内容の習熟・徹底は図れたか。		
28	習熟度に応じた指導に努めたか。		
29	体験学習や問題解決的な学習を重視し、指導方法の工夫に努めたか。		
30	自ら進んで課題に取り組む姿勢の育成に努めたか。		
31	指導に生かすために、計画的な評価に努めたか。		
32	学び方を身に付け、学ぶ喜びを実感させる指導に努めたか。		
発展的な学習の推進			
33	朝学の時間を有効に活用できたか。		
34	情報化に対応し、インターネットや各種資料は活用できたか。		
35	備品等の教材教具は、効果的に活用できたか。		
36	自主学習等、学習の習慣化は図れたか。		
37	児童一人ひとりのよさや可能性を大切に、個を生かす教育に努めたか。		

G 心の教育の充実

道徳教育の推進		評価	意見等
38	道徳の時間を確保するように努めたか。		
39	教育活動全般を通して、他教科との関連を図りながら指導の工夫ができたか。		
40	学校や家庭での生活全般を通して、児童自ら進んで「心のノート」を活用するように働きかけたか。		
41	学校だより等で呼びかけるなどして、保護者とともに児童の道徳的実践力の向上に努めたか。		
特別活動の推進			
42	児童が主体的に活動するように努めたか。		
43	クラブ・委員会活動では、児童の意欲を高め、楽しく活動できるよう指導に努めたか。		

生徒指導の充実		評価	意見等
44	進んであいさつをする指導の充実は図れたか。		
45	掃除時間の指導の充実は図れたか。		
46	時間を守る指導の充実が図れたか。		
47	いじめ・不登校・問題行動等の予防に努めたか。		
48	いじめ・不登校・問題行動等への対応は速やかに行えたか。		
49	「心のなやみアンケート」の結果をふまえ、個に応じた教育相談を充実させることに努めたか。		
50	児童についての共通理解は図れたか。		
51	交通安全指導の充実は図れたか。		
52	地域や関係機関との連携は図れたか。		
人権教育の推進			
53	人権に関する問題を正しく理解させ、人権感覚を高める指導に努めたか。		
54	自他の生命や人格を尊重し、みんなと協力してともに伸びていく児童の育成に努めたか。		
55	保護者や地域へのはたらきかけに努めたか。		

H 健康教育の充実

体育学習の充実			
56	運動量を確保し、めあてをもって学習する指導に努めたか。(教科)		
57	児童が主体的に運動に親しむようにはたらきかけたか。		
保健指導の充実			
58	自分の体を知り、健康の自己管理能力が育つよう、保健目標を意識して指導したか。		
59	学校保健委員会の活動や家庭への配布物等を通して保健指導の充実が図れたか。		
性教育の推進			
60	性教育の実践に努めたか。		
給食指導の充実			
61	栄養・偏食・マナー等、食に関する指導の充実が図れたか。		

I その他

--

評価...次の基準によって、評価欄に4, 3, 2, 1を記入する。

- 4...おおむね達成できている。
- 3...具体的な活動がなされており、成果もあらわれてきている。
- 2...具体的な活動がなされているが、成果が出てきていない。
- 1...具体的な活動がなされておらず、成果も出ていない。

数字にアンダーラインがついているものは個人の取組みを考える。

学校生活について

()年()組 名前()

みなさんが通うこの長府小学校をよりよくしていくために、このアンケートを行います。成績には関係ありません。思ったことを正直に書いてください。

	質 問	はい	まあまあ	あまり	いいえ
	<p>そうだと思うところにをつけてください。</p> <p>1・2年生は数字の黒いものと最後の の質問に答えましょう。</p> <p>3年生以上は表裏すべてやりましょう。</p>				
1	学校に行くのが楽しい。				
2	勉強がわかる。				
3	友達と遊ぶのが楽しい。				
4	先生や友達によくあいさつをしている。				
5	掃除はだまっていっしょうけんめいしている。				
6	学校のきまりや約束ごとをよく守っている。				
7	休み時間は、外でよく遊んでいる。				
8	給食をすききらいなく食べるようにしている。				
9	運動会は楽しい。				
10	学芸会は楽しい。				
11	集会は楽しい。				
12	人の前で自分の考えをよく発表している。				
13	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いている。				
14	学校や教室をきれいにしている。				
15	総合的な学習の時間は楽しく自分のためになっている。				
16	こまった時、保健室や教育相談室の先生に相談することができる。				

	質 問	はい	まあまあ	あまり	いいえ
17	ひと への 思いやりや 命 の 大切 さ について よく 学 んでいる。				
18	がっこう で 火事 や 地震 が 起きた 時、 どうしたら よいか 知っている。				
19	あんぜん に 注意 して 登下校 している。				
20	としょしつ や コンピュータ 室 を よく 利用 している。				
21	よりよい 学 級 するため 学 級 の 問題 など について みんな で よく 話し合 っている。				
22	ちやうふしやう の みんな は、 よく あいさつ を している。				
23	せんせい は わかり やすく 教えて くれる。				
24	せんせい は わたしたち の 話 を 聞いて くれる。				
25	せんせい は じぶん が がんばった こと を ほめて くれる。				
26	せんせい は、 いじめ など の 問題 に 真剣 に 取り組んで くれる。				
27	たん にん の せんせい 以外 にも 相談 できる せんせい が いる。				
28	「あゆみ」 に つけて ある ことは、 大体 そう だ と思う。				
29	としょしつ には 読みたい 本 が いっぱい ある。				
30	がっこう の 遊具 や 道具 は、 安全 で すぐ 使える。				

がっこう や せんせい の こと について、「もっと ~ ~ ~ だったら いい なあ。」 と思う ことが あったら 書 きましょう。

記入者()

診 断 内 容	評 定
<長府小教育のめざすもの>	
1 「正しく」「やさしく」「たくましく」は、長府小の校訓であることを知っている。	
2 学校はチャレンジ目標を達成するために、具体的手だてを講じて努力している。	
<学校経営>	
3 学校は、地域の人材や施設などを生かした特色ある教育活動を行っている。	
4 学校は、保護者・地域の願いを受け止める努力をしている。	
5 学校は、保護者・地域の願いに沿った教育を展開している。	
6 学校は、家庭への連絡を積極的に、きめ細かく行っている。	
7 学校は、保護者が授業を参観する機会をよく設けている。	
8 学校が保護者に出す文書・連絡等は、有効・適切である。	
9 学校では、保護者や地域の人々と話をする機会を多くもっている。	
10 先生は、P T A 活動に積極的に参加している。	
11 先生は、保護者や地域住民に誠意をもって接している。	
12 学習の内容や子どもの様子を、懇談や学年(学級)通信などでよく知ることができる。	
13 学校の教職員は責任と使命を自覚し、協力して学校教育に取り組んでいる。	
<学習指導・評価>	
14 子どもは、授業が楽しいと言っている。	
15 学校は、子どもに基礎的な学力が身に付く指導を行っている。	
16 学校は、「総合的な学習」(環境・福祉・国際理解等)の教育を積極的に進めている。	
17 先生は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	
18 学校は、全教育活動を通して、優しさや思いやりのある子どもを育てようとしている。	
19 運動会は、子どもたちにとって価値ある活動になっている。	
20 学芸会は、子どもたちにとって価値ある活動になっている。	
21 学校は、学年段階に応じて命の大切さや人権を尊重する意識を育てようとしている。	
22 学校は少人数指導や教科担任制などを実施し個に応じた指導で学力向上を図っている。	

チャレンジ目標...「いつでも どこでも お先にあいさつ」「考えながら 聞く 話す」
「だまって 静かに 仲よく掃除」

< 生徒指導・教育相談 >	
23	学校は、社会におけるマナーやルールを守る態度を育てようとしている。
24	学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。
25	子どもは、先生や友達と好ましいかわりができている。
26	先生は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。
27	先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。
28	先生は、子どものよさや気持ちをよく理解してくれている。
< 保健・体育指導 >	
29	学校は、たくましい子どもに育つよう体力づくりの指導をしている。
30	学校は、健康・体力の保持増進について子どもたちを指導している。
31	学校は、食に関する指導を積極的に導入し、子どもたちの食生活の改善に努めている。
< 教育環境・危機管理・安全対策 >	
32	地震や火災等の場合、子どもに避難の仕方が知らされている。
33	学校は、不審者の侵入防止及び早期発見のための対策を整えている。
34	学校の施設・設備は、よく整備されていて、有効に活用されている。
35	学校は、事故防止に心がけ、適切な配慮をしている。
36	学校は自分たちの学校を誇りに思い、進んで清掃や作業に取り組む子どもを育てている。

学校教育活動をよりよいものにするために、高い評価の理由や低い評価の理由・改善意見をできるだけお書きください。その際、番号を書いてからお書きください。

ご協力ありがとうございました。

このアンケートは入っていた封筒に入れ、のり付けして、お子さんに持たせ、担任の先生に提出してください。なお、整理の都合上、1月31日（月曜日）までにお願致します。

(2) 年度途中における評価

ア 教職員、児童、保護者や地域住民による評価

小串小学校では、学校評価等年間計画（P.20）に基づいて計画的に学校評価を実施しているが、学校評価委員会・学校評価会議で検討された「小串小教育のふりかえり」アンケートを教職員だけでなく、児童や保護者、学校評議員、地域指導者（地域住民）による外部評価も併せて、1学期末、2学期末に2回実施している。（P.21～25参照）

これまでは、年度末の3学期に行っていたが、次年度への改善・更新について教職員が共通理解を図りながら次年度の教育課程の方針決定を十分に行うことが出来なかった。しかし、年度途中に2回評価を行うことで次のような利点が見えてきた。

長期休業前にアンケートを行うため、結果を分析し、改善・更新策を検討する時間を十分にもつことが出来る。

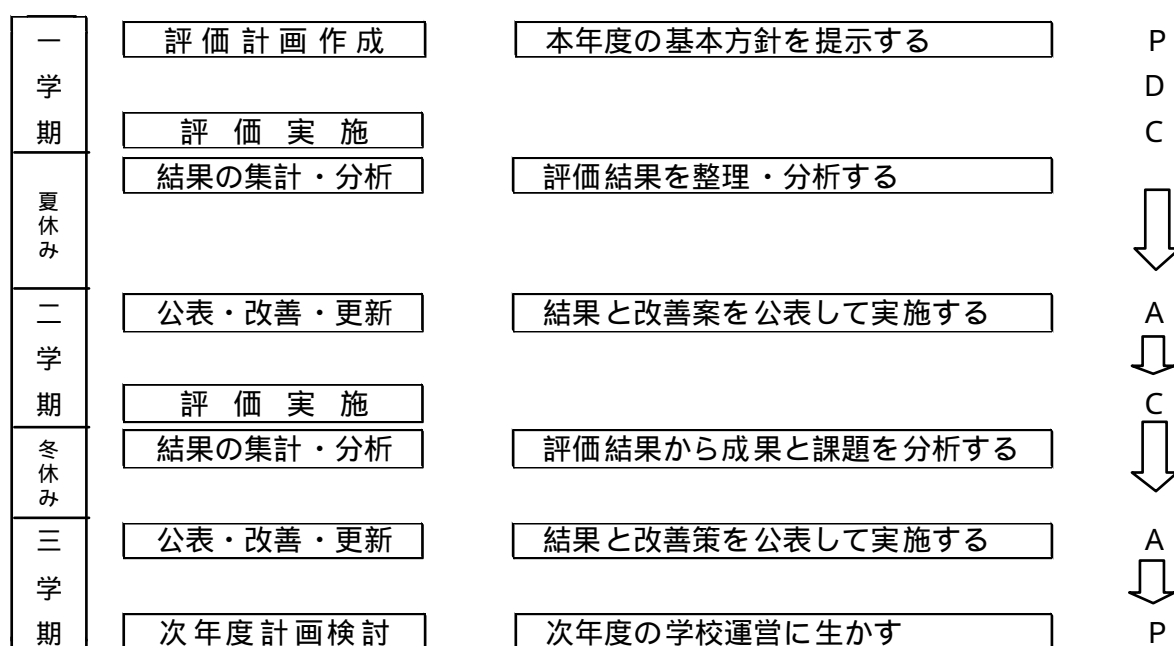
アンケート結果を基にして、学校評価委員会や学校評価会議において今後の教育活動に生かすための改善・更新意見について検討し、教職員が共通理解を図ることができる。

年度末における評価でなく、1学期末・2学期末という短いスパンで行うことによって、変容を見ながら保護者や地域住民が評価することができる。そのため、外部評価を生かした改善・更新が行いやすい。

保護者や学校評議員、地域住民に対して、評価結果の公表内容について十分検討した後に公表することができ、学校評価に対する信頼が増してきた。外部評価が学校運営に生かされていることを伝えることは、保護者や地域住民が学校運営に参画しているという意識が高まる。そして、「子どもが通っている学校」から「自分たちの地域の学校」へと学校に対する意識が変わってきた。

教職員は、2回のふりかえりを踏まえて次年度の学校運営や教育課程の編成に生かすための検討時間を3学期に十分もつことができる。

【小串小学校における学校評価の流れ】



学期	月	内部評価活動	担当	外部評価活動	担当
1	4	委 組織立ち上げ 委 評価項目・評価計画作成	校長 評委		
	5	教 学級経営案作成 児 教育相談アンケート	担任 担任	評 学校評議員会	校長
	6	児 ふりかえりカード 分析 検討	教頭	保 地「小串小教育ふりかえり」 分析	教頭
	7	教 「小串小教育ふりかえり」 分析 検討	評議 教頭	検討 広報	評議 教頭
	8	教 学級経営自己評価&更新	担任		
	9				
	10	児 教育相談アンケート	担任	保 人権教育授業参観アンケート	担当
	11	児 ふりかえりカード 分析 検討	教頭	評 学校評議員会	校長
	12	教 「小串小教育ふりかえり」 分析 検討	評議 教頭	保 地「小串小教育ふりかえり」 分析 検討 広報	教頭 評議 教頭
	1	教 学級経営自己評価&更新 教 小串小教育の反省	担任 教務		
	2	児 教育相談アンケート	担任	評 学校評議員会	校長
	3	教 学級経営自己評価&まとめ 委 外部評価項目の検討	担任 評委		
毎月		教 安全・衛生点検&対応	職員	自 教育モニター & 対応 & 広報	教頭

内部評価活動 委 評価委員会 教 教職員 児 児童
 外部評価活動 評 学校評議員会 保 保護者 地 地域指導者 自 自治会
 担 当 「評委」……評価委員会 「評議」……評価会議

1学期「小串小教育のふりかえり」のお願い

梅雨の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。平素から、本校教育の推進につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、保護者の皆様に教育活動に関するアンケートをお願いしたいと思います。皆様のご意見ご感想をもとに、小串小教育の一層の充実を図りたいと考えておりますのでご協力ください。

A = あてはまる B = おおむねあてはまる C = どちらかといえばあてはまらない
D = あてはまらない = よくわからない (該当する記号に をつけてください。)

氏名()

家庭・地域での児童のようす	心の豊かな子	
	元気よく自分からあいさつをする。	A B C D
	登校班の集合時刻に間に合うように自分で支度をして家を出る。	A B C D
	仲のよい友だちがいる。	A B C D
	進んで学ぶ子	
	進んで家庭学習に取り組んでいる。	A B C D
	進んで読書をする。	A B C D
	進んでお手伝いをする。	A B C D
	体の丈夫な子	
	朝、自分で起きる。	A B C D
	朝ご飯を食べて登校する。	A B C D
	帰宅後や休日には、外で元気に遊んでいる。	A B C D
	朝夕、歯みがきをする。	A B C D
	学校の取り組み	家庭・地域との連携
教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりや参観日等で分かる。		A B C D
緊急時や問題発生時の対応はよい。		A B C D
学校は、保護者の思いを聞く機会を設けている。		A B C D
学校は、子どものことについて気軽に相談できる。		A B C D
教育活動		
学校はいじめや不登校のない楽しい学級づくりに努めている。		A B C D
学校は楽しくわかる授業づくりに努めている。		A B C D
学習したことが身に付いている。		A B C D
学校は相談に適切に応じ、子どもの理解に努めている。		A B C D
学校は安全・快適な環境づくりに努力している。	A B C D	
学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	A B C D	
21 学校は育友会活動に協力的である。	A B C D	

本校の教育活動や施設・設備などについてのご感想・ご意見を自由にお書きください。

1学期「小串小教育のふりかえり」のお願い

梅雨の候、地域指導者の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素から、本校教育の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、地域指導者の皆様のご意見・ご感想をもとに、小串小教育の一層の充実を図りたいと考えております。つきましては、ご多用の折とは存じますが、下記アンケートの記入につきましてご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、各自治会長様へのアンケートのお願いにつきましては、連合自治会長様にご了解を得ておりますことを申し添えます。

A = あてはまる B = おおむねあてはまる C = どちらかといえばあてはまらない
D = あてはまらない = よくわからない (該当する記号に をつけてください。)

地域での子どものようす	朝は登校班できちんと登校している。	A B C D
	地域の人に自分から元気よくあいさつをする。	A B C D
	安全に気を付けて下校している。	A B C D
	外で元気に遊んでいる。	A B C D
	安全な自転車の乗り方をしている。	A B C D
	危険な遊びをしていない。	A B C D
	公共のマナーを守って生活している。	A B C D
	進んで地域の行事に参加している。	A B C D
学校の取り組み	学校の教育方針や学習の様子が学校だより等で分かる。	A B C D
	地域との連絡や相談などを適切に行っている。	A B C D
	緊急時の対応について地域と連携が図れる体制ができています。	A B C D
	地域の活動や行事に対する学校の協力体制はよい。	A B C D
	学校の施設・設備などの教育環境は整っている。	A B C D
	授業参観や授業への協力など出かけやすい学校になっている。	A B C D
	電話や来校時の教職員の対応はよい。	A B C D

本校の教育活動、施設・設備などについてのご感想・ご意見を自由にお書きください。

氏名()

返信につきましては、近くの子どもにことづけられるか、FAXで結構です。

小串小学校ふりかえりカード

年 名まえ

1	いま、 ^{がっこう} 学校はたのしいですか。	とても楽しい 楽しい あまり楽しくない 楽しくない
2	^{がくしゅう} 学 ^{べんきょう} 習(勉強)はわかりますか。	よくわかる わかる あまりわからない わからない
3	なかよしの ^{とも} 友だちがいますか。	たくさんいる いる あまりいない いない
4	せんせいと ^{はなし} 話をしますか。	よくする する あまりしない しない
5	せんせいは自分たちのことをわかって ^{じぶん} くれているとおもいますか。	よくわかっている わかっている あまりわかっていない わかっていない
6	すきな ^{がくしゅう} 学 ^{じぶん} 習はなんですか。	こくご しゃかい さんすう りか せいかつ おんがく ずこう かてい たいいく どうとく ふれあい学習
7	^{じぶん} 自分から ^{げんき} 元気よくあいさつをしますか。	いつもする たいていする あまりしない しない
8	そうじをがんばっていますか。	とてもがんばっている がんばっている あまりがんばっていない がんばっていない
9	「 ^{はし} 走ろう ^{うんどう} 運動」をがんばっていますか。	とてもがんばっている がんばっている あまりがんばっていない がんばっていない
10	せんせい、 ^{とも} 友だちの ^{はなし} 話を ^き 聞いていますか。	よくきいている きいている あまりきいていない きいていない
11	すすんで ^{はっぴょう} 発表していますか。	よくする する あまりしない しない
12	おうちの ^{ひと} 人と ^{がっこう} 学校のことはなしますか。	よくする する あまりしない しない
13	おうちでどれくらい ^{がくしゅう} 学 ^{じぶん} 習しますか。	()ほとんどしない () 10ふん () 20ふん () 30ふん () 40ふん () 50ふん () 60ふん () 60ふんいじょう
14	^{あさ} 朝の ^{どくしょ} 読書で ^{ほん} しっかり ^よ 本を読んでいますか。	しっかりよんでいる よんでいる あまりよまない よまない

平成16年度小串小教育ふりかえりカード

氏名()

A = あてはまる	B = おおむねあてはまる
C = どちらかといえばあてはまらない	D = あてはまらない

1 学級経営目標の設定と学級づくり	
学級経営目標や取組みは、具体的で評価できる内容になっている。	A B C D
人権尊重を基本においた学級経営・教育活動ができています。	A B C D
P D C A のマネジメントサイクルで学級経営に取り組んでいる。	A B C D
教室環境の整備に努めている。	A B C D
特別な配慮を要する児童について、協働して指導に当たっている。	A B C D
いじめや不登校のない学級づくりをめざした取組みができています。	A B C D
学級だよりで、学級の経営方針や児童の様子を保護者に知らせています。	A B C D
保護者の思いや願いを把握する努力をしています。	A B C D
2 授業・教育活動など具体的な指導	
少人数などによるきめ細かな指導に努め、基礎基本の定着を進めている。	A B C D
基礎・基本を明確にして、指導に取り組んでいる。	A B C D
評価規準を明確にして、指導に取り組んでいる。	A B C D
ノート指導などの学習規律・習慣を継続的に指導している。	A B C D
操作活動等の時間を確保し、具体的に考えさせる授業に努めた。	A B C D
意見交換の場を確保し、考えを磨きあう授業を進めている。	A B C D
道徳の授業時数を確保している。	A B C D
コンピュータを活用した授業に取り組んでいる。	A B C D
各教科の時数や進度の自己管理に努めている。	A B C D
ふれあい学習は、培いたい力を明らかにして取り組んでいる。	A B C D
地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている。	A B C D
指導計画に基づいて、教材教具を適切に整備・管理・活用している。	A B C D
朝の読書活動は子どもとともに取り組んでいる。	A B C D
3 生徒指導	
子どものよいところを見つけ、ほめている。	A B C D
日々の掃除時間には、子どもとともに活動している。	A B C D
子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。	A B C D
トラブルを見逃さず、積極的に解決する努力をしています。	A B C D
問題が起こったとき、相談をし、全校体制で取り組んでいる。	A B C D
児童の身体の異状を見逃さないために、日頃から気を付けている。	A B C D
体育や清掃指導後など道具の後始末のみかじめを行っている。	A B C D

4 協働体制・危機管理	
協働のために「報告、連絡、相談」を心がけている。	A B C D
職員会議や職員研修で自分の考えや意見を積極的に述べている。	A B C D
会議は、能率的・建設的に進められている。	A B C D
教職員の相互理解や信頼関係が深まるように努力している。	A B C D
全校で取り組むことには積極的に協力し活動している。	A B C D
危機管理意識を常にもち、緊急時に対応できる体制ができている。	A B C D

5 校内研修	
研修課題を学年の実態に即して具体化して取り組んでいる。	A B C D
参加した研修会の成果を教職員に復伝している。	A B C D

6 服務・規律	
服務規律を遵守するようにしている。	A B C D
教育公務員として自覚ある生活をしている。	A B C D
保護者や地域の方との信頼関係を築く接し方・係わり方に努めている。	A B C D

7 学校運営	
校長は、学校運営についての考えを明らかにしている。	A B C D
学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	A B C D
教育計画は整備されている。	A B C D
教職員の適性や能力に応じた校務分掌の分担がなされている。	A B C D
教職員の意見を聞き、教育環境の整備に努めている。	A B C D
適切な予算執行ができている。	A B C D

<p>小串小教育の充実・発展にむけて改善点や意見がありましたら記入してください。</p>
--

イ 学級経営案による評価

今年度から、吉田小学校では、学級経営のより一層の充実を図るため、学級経営案に各学期ごとの評価と改善点を明記するようにした。

【学級経営案】

下関市立吉田小学校

目標

教育目標 ・ めざす 児童 像	人間尊重の精神を基盤に、人間性豊かで、自ら学ぶ意欲をもち、未来社会にたくましく対応できる力をもった児童を育成する。		
	よく考え勉強にはげむ子 【自主・創造】	しっかりした心と体をつくる子【健康・清純】	だれとでも仲よく助け合う子【協力・責任】
学年・学級目標 ・ 経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・話をしっかり聞きとる子。 ・考えや思いをはっきり表現する子。 ・ねばり強く取り組む子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動し、安全に気をつける子。 ・進んで働く子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人のよさを見つけ、認めることができる子。 ・思いやりをもち、助け合う子。 ・元気よく明るくあいさつができる子。
1学期末 評価改善	2	【記入例】 ・一部の児童は達成できているが、まだまだなので、継続して取り組みたい。	
2学期末 評価改善			
3学期末 評価改善			

評価... 3 = 成果あり、指導継続 2 = 成果が見えそう、指導継続 1 = 成果なし、改善策必要

努力点		1 学期	2 学期	3 学期			
努力項目（具体的方策）		評価	改善点	評価	改善点	評価	次年度に
学 力 科 等	基礎 基本 ・ 発展 的な 学習 各 教 科 等	【記入例】 ・ 児童が受け身になる授業をするのではなく、児童が主体性をもって取り組めるよう留意していきたい。 ・ 基礎的、基本的な内容は、子どもたちの主の力になるものなので大切に扱いたい。 ・ 授業の中に、絶えず子どもたちの意識を留めさせるために、キーワードを作り、その解明に向かっての取り組みを重視していきたいと思う。	2 【記入例】 ・ 課題研修のテーマになっている発表に関して言うと、四、五人の児童が中心になっているので、もっと児童の主体性を重視した指導をしていきたい。				
心 の 教 育 等	道徳 ・ 生徒 指導 ・ 人権 教育 等						
健 康 教 育 等	体育 ・ 健康 安全 ・ 給食 等						

評価... 3 = 成果あり、指導継続 2 = 成果が見えそう、指導継続 1 = 成果なし。改善策必要

ウ 児童による授業評価

これまで、教員同士による授業研究で、授業技術や研究テーマに基づいた研究をするなど、授業者である教師が授業を評価し、指導に生かしていた。

しかし、学校運営や学級経営の改善を図っていくために、授業の主体者である児童に意見を聞くことはとても重要である。これまで、教師の視点から見るが多かった授業を児童の視点からとらえ、分析し、改善していくことは極めて有効な教育的効果をもたらすと考えられる。(P.29参照)

授業評価を行う際、児童によって、あるいは教師によって、項目のとらえ方が異なると、的確な授業評価とならないことから、授業評価説明用プリント等を準備して共通理解を図ることが大切である。

授業評価によるメリット

自分の授業を分析的に見るようになる。

今まで以上に、児童一人ひとりを大切にしたい授業をしようとする姿勢がうかがえるようになる。

教師と児童との思いのギャップを明確にすることができる。

問題点や課題をはっきりさせ、それに対して具体的方策を立てて改善しようとする意欲と実践が見られるようになる。

個別指導や教育相談の必要性を感じ、対応していくことにより児童理解が深まる。

エ 来校者による評価

年度末の評価は1年という長いスパンで評価していくわけであるが、時期的なことや緊急性を考えると、常日頃から、意見を求める体制づくりが大切だと思われる。そのため的手段として、保護者等が参観日や行事などで来校した際に、その時点での評価や意見を書いていただくようにしている。(P.30参照)

また、学校に初めて来られた方や地域・一般の方にも学校の評価や意見を書いていただくように、玄関に「来校者アンケート用紙」(P.29参照)を置いて、いつでも記入可能な状態にしている。初めて来られた方の客観的な目で、教職員の対応やあいさつの様子や学校環境の様子など、改善意見だけでなく、学校のよい面も明確になり、教職員の自信に結びつくものとなっている。

これらの意見は、学校評価を即座に改善に結びつけたり、年度末の懸案事項として保留にしておき、来年度の検討をする際に生かしたりしている。

このように、日常的に学校が外部に意見を求めることは、開かれた学校を外部の方々に印象づけることにもとても役立っている。



< 三世代交流 門松づくり(長府小学校) >

たのしく学習をすすめるために（１，２年生）

年 組（ ）

	質問（そうだと思うところに をつけてください）	はい	まあまあ	あまり	いいえ
1	先生の声はよく聞き取れる。				
2	先生の黒板の字は、ていねいで読みやすい。				
3	授業は楽しい。				
4	先生はわかりやすく教えてくれる。				
5	授業では、話し合ったり、考えたり、作ったりすることがある。				
6	先生は、授業がきちんとできるようにルールを守らせている。				
7	先生は、授業中、私たちの意見をよく聞いてくれる。				
8	先生は、書いたものや作ったものをきちんと見てくれる。				
9	授業でわからないことは、先生に聞きやすい。				
10	先生は、学習でがんばったことをほめてくれる。				

月 日

アンケート

（あてはまるところに をつけてください）

保護者 来客者 業者 教員 その他

長府小によくそいちゃいました。よりよい学校づくりの参考にしたいと思いますので、お気づきの範囲内で結構ですので、下記のアンケートにご協力ください。

- （ア）～（エ）のうち、あてはまるものに をつけてください。
 - ・子どもたちはあいさつができましたか。
 - （ア）よくした （イ）まあまあ （ウ）あまりしていない （エ）していない
 - ・教職員の対応は適切でしたか。
 - （ア）よい （イ）まあまあ （ウ）あまりよくない （エ）よくない
 - ・学校環境は美しく整備されていましたか。
 - （ア）よい （イ）まあまあ （ウ）あまりよくない （エ）よくない
- お気づきの点があれば遠慮なくお書きください。
 - ・子どもについて ・教職員について ・学校環境について ・その他

- ・いつも長府小学校教育へのご理解・ご協力ありがとうございます。
- ・よりよい学校づくりの参考にさせていただきたいと思います。
- ・お気付きの範囲内で結構ですので、アンケートにご協力ください。

ア ン ケ ー ト

年 組 お名前()

学級について

これまでの参観日や子どもさんとの会話などから、お気付きの点がありましたら遠慮なくお書きください。(授業・子ども間の人間関係・学級の雰囲気など)

(裏面)

学校全体について

- 1 (ア)～(エ)のうち、あてはまるものに をつけてください。
 - ・子どもたちはあいさつをしていますか。
(ア)よくしている (イ)まあまあ (ウ)あまりしていない (エ)していない
 - ・教職員の対応はいかがですか。
(ア)よい (イ)まあまあ (ウ)あまりよくない (エ)よくない
 - ・学校環境は、美しく整備されていると思いますか。
(ア)よい (イ)まあまあ (ウ)あまりよくない (エ)よくない
- 2 お気付きの点があれば、遠慮なくお書きください。
 - ・子どもについて
 - ・教職員について
 - ・学校環境について
 - ・そ の 他

ご協力ありがとうございました。

4 評価基準の設定

(1) 教育活動の的確な評価

学校評価をより客観的に、信頼性を高めていくには、それぞれの評価項目についての評価基準を明確にしておく必要がある。長府小学校では、保護者・地域用評価表では下に示したような4段階の評価基準を用いている。

記入にあたって

この評価は、保護者や地域の方々に学校の教育活動や組織について評価していただき、学校改善のための資料とし、子どもたちの学校生活を生き生きとした楽しいものにするために実施するものです。

それぞれの設問の内容について、以下の基準で評価欄に4, 3, 2, 1を記入してください。

- 4 ... よくあてはまる
- 3 ... ややあてはまる
- 2 ... あまりあてはまらない
- 1 ... まったくあてはまらない

授業参観や学校行事等で来校されたときの様子や学校からの配布物、お子さんから聞かれていることなどをもとに記入してください。

また、判断できない(わからない)場合は、?をお書きください。

また、児童用の授業評価を実施する際には、評価の条件を統一しておく必要があり、各項目に応じた教師用の説明プリントを準備し、同じ条件のもとで評価できるように工夫している。

【「授業評価」説明用プリント(教師用)】

下関市立長府小学校

「授業評価」説明用プリント(1, 2年用)

No.	教師の説明
1	先生の言葉は、はっきりしていて、声の大きさや話す速さもちょうど良くてしっかり聞くことができる。
2	先生の黒板の文字は、ていねいで読みやすい。
3	先生の授業は「どんな学習をするのだろう、早くやりたいなあ」と感じる事が多く「できるようになった、わかった」ということがよくあり、授業が楽しい。
4	先生はわかりやすく教えてくれる。(指導技術面)
5	授業では、話し合ったり、考えたり、作ったりすることがある。
6	先生は授業がきちんとできるように、学級みんなにルールを守らせている。
7	先生は授業中、私たちの質問や意見をよく聞いてくれている。(子どもの意見をよく聞こうとしている)
8	先生は、書いたものや作った物をきちんと見てくれている。
9	授業中、分からないことがあったときでも、先生にすぐにきくことができる。(教師のもつ雰囲気など)
10	先生は学習でがんばったことをほめてくれる

チャレンジ目標の実態調査を実施した際には、より詳細な行動目標が必要となり、下記の表のような評価基準を設定し、実態把握に努めた。

<あいさつ>	人数
A：いつでも、だれにも、自分から積極的にあいさつができる。	名
B：決められたあいさつはできるが十分でない場合がある。	名
C：促されないと、自分からあいさつができない。	名
<そうじ>	人数
A：自ら進んで、黙って最後まで掃除をすることができる。	名
B：教師の指導のもとでは、黙って掃除をすることができる。	名
C：ほとんどの場合、やる気が見られず、むだ話も多い。	名

(2) 具体的数値目標

目標の達成状況を診断・分析する参考として、具体的な数値目標を設定しておくことは大変重要であり、評価を実施するまでに教職員でしっかり協議しておく必要があると考える。

4段階の評価を実施した場合、80%以上を達成ラインと考えて、平均数値を3.2と設定し、その数値を下回る項目について、昨年の数値と比較しながら達成できたか否かを判断するようにしている。数値のみで一喜一憂するのではなく、記述意見等も参考にしながら総合的に判断することが大切である。

平成15年度 学校教育活動の評価と反省（教職員用） 集計結果

下関市立長府小学校

学校運営

A 教育目標

共通理解・共同実践		年度	平均	4	3	2	1	回答
1	学校教育目標の共通理解は図れているか。	14	3.3
		15	3.3	10	21	0	0	31
2	努力点達成のための取組を実践しているか。	14	3.0
		15	3.1	4	27	0	0	31
3	全体計画・年間計画に基づいた実践ができていますか。	14	2.9
		15	3.1	4	29	0	0	33
4	教育活動全体に渡って評価を行い、次年度に生かし改善するようになっているか。	14	2.8
		15	3.3	13	18	1	0	32

B 指導体制

組織づくり		年度	平均	4	3	2	1	回答
5	努力点達成をめざす分掌組織になっているか。	14	3.0
		15	3.2	5	26	0	0	31
6	学年・学級相互の連絡が円滑で、学校全体として意欲や力を発揮できる組織になっているか。	14	3.1
		15	3.4	12	20	0	0	32
7	職員会議で話し合われたことが教育活動や学校運営に生かされているか。	14	3.1
		15	3.3	11	21	0	0	32
8	分掌ごとの話し合いができており、組織が機能しているか。	14	3.2
		15	3.3	9	23	0	0	32
危機管理体制								
9	安全点検は計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。	14	3.2
		15	3.6	20	15	0	0	35
10	事件・災害・生徒指導に対し、全教職員が意思統一を図り、適切な対応ができていますか。	14	2.7
		15	3.1	7	23	3	0	33

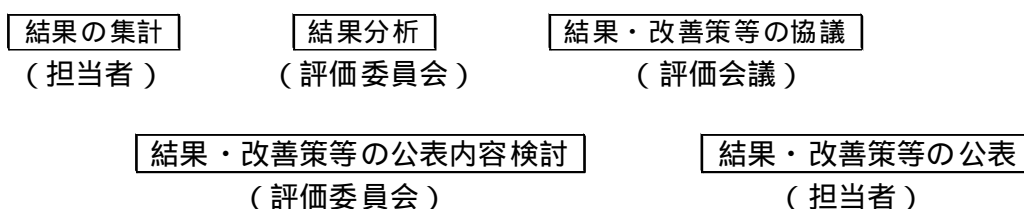
5 評価結果の公表

(1) 評価結果の公表に向けて

小串小学校では、1学期末及び2学期末に教職員によるふりかえりと児童、保護者、地域住民による外部評価を行い、その結果を学校評価委員会で分析・検討し、教職員全員による学校評価会議において、評価結果を生かした今後の改善策について話し合っている。

学校評価年間計画にも公表の時期を明記して、評価結果について保護者や地域住民に公表しており、アンケートに回答してもらっただけでなく、結果を返すことなどにより、情報が共有できるよう工夫している。

ア 公表に関する流れ



イ 評価委員会・評価会議の役割

- ・ 外部評価の結果を真摯に受け止め、今後の学校教育の中に生かす方向性を探る。
- ・ 改善できること、すぐに実行できること等について全教職員が共通理解を図る。
- ・ 評価結果について十分吟味し、学校としての信用を失うことがないよう教職員の意識を高める場とする。
- ・ 課題となる観点については改善する方向や内容を検討し、行動計画を作る。

ウ 公表の場

- ・ アンケート結果の配布（保護者、地域指導者等）
- ・ 学校だより（校区内の全世帯）
- ・ 学級だより
- ・ 学級懇談会（懇談の資料）
- ・ P T A 総会（学校経営方針の説明）
- ・ 学校評議員会

(2) 公表の内容

公表に当たっては、アンケートの結果だけではなく、評価することの意義、改善の視点や方向性、教育活動への導入の在り方についても明確に示すことが重要である。

まず、なぜ、学校が外部評価を求めているのか、それが今後の教育活動にどのように生かされようとしているのかを明記して公表することで、次回の外部評価にも生かされていくことになる。

そして、外部評価によって見えてきた課題に対して、学校がどのように対応するのが分かる内容であることが重要である。

また、評価結果の公表は、グラフ化して整理することが望ましい。グラフ化することで評価結果が視覚的に捉えやすくなり、また、前回の結果との比較も容易になってくる。

さらに、自由記述についても項目ごとにまとめ、保護者や地域の方々がどのような考えをもっているのかを分かりやすく表現するように努めている。ただし、児童や保護者、地域の方々のプライバシーに関する部分については配慮が必要である。

【学校だよりによる公表】

豊浦町立小串小学校

「小串小ふりかえり」より

1学期に小串小学校の教育活動についてふりかえりをお願いしました。地域の指導者・保護者の皆様、そして、児童・教職員と小串小学校にかかわるたくさんの方にアンケートに答えていただきました。



このアンケートは、今後の小串小学校の教育活動をよりよいものにしていくためのものです。ふりかえりの意見は校内の学校評価会議において検討し、できることから改善・更新していきます。

- *あいさつについては今後も自分から元気にあいさつができるよう、みんなで声をかけていきます。
- *朝の読書時間が始まり、読書ボランティアの方々の読み聞かせもあって、子どもたちの読書量が徐々に増えてきています。学校・家庭それぞれでじっくり読書する時間を作っていきましょう。
- *安全な自転車の乗り方については、まず11月30日に自転車教室を開催します。その後は子どもたちの様子を見ながら継続的に指導を行っていきます。
- *自分から進んで学習したり、お手伝いをしたりできるように、家庭と学校とが連絡を取り合いながら進めていきます。
- *施設面の整備については、取りかかれることから始めています。町教育委員会への要望も続けて行っています。
- *校門付近の穴やハゼの木は、先日の育友会奉仕作業の際に処理していただきました。

子どもたちのために今後もよりよい方向で教育活動が行われるよう、さらに努めてまいります。11月には2回目のふりかえりを予定にしておりますので、また貴重なご意見をいただきますようお願いいたします。

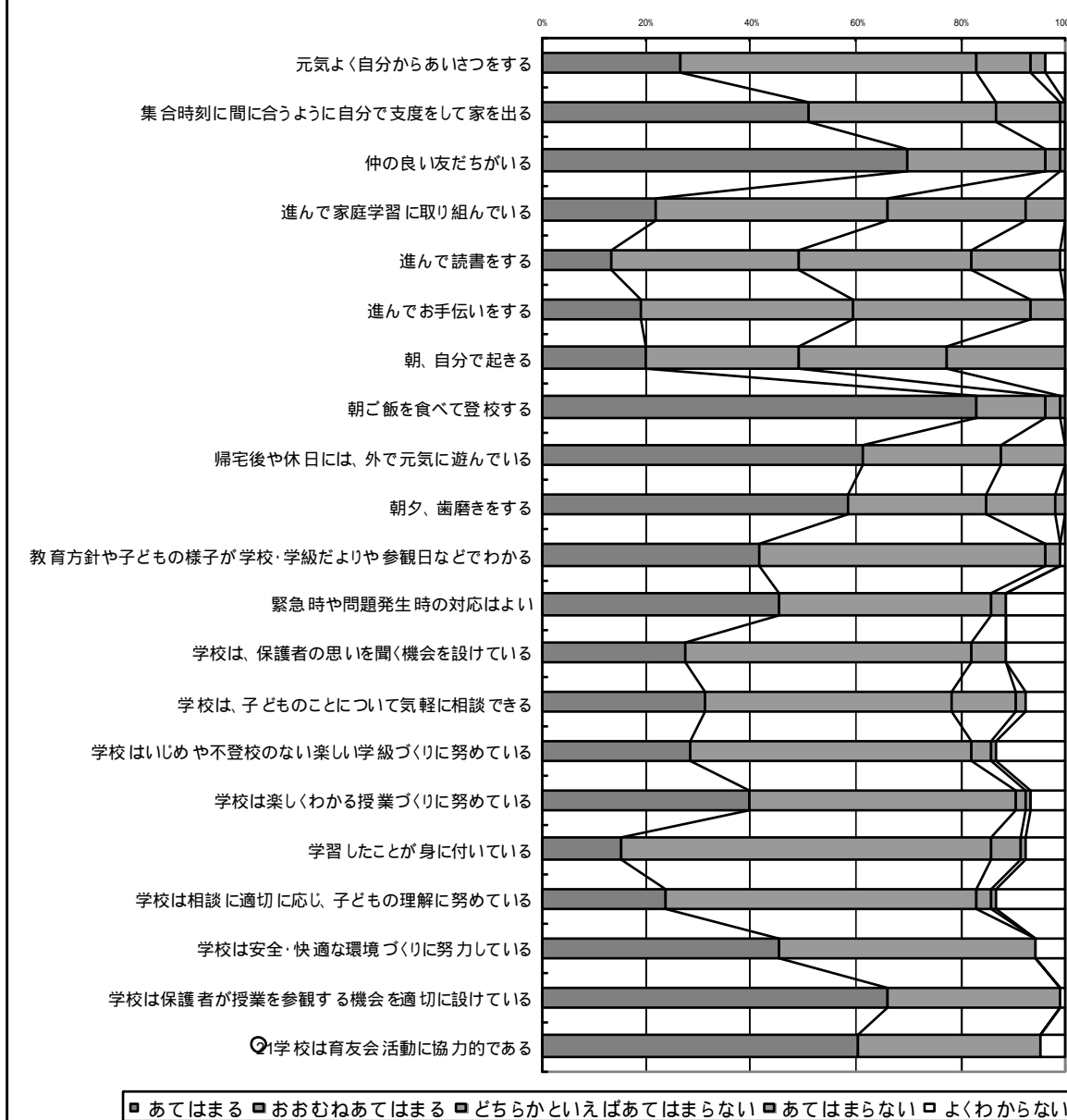
1学期の小串小教育のふりかえりの結果について

中秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素から、本校教育の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1学期の小串小教育のふりかえりのアンケートにつきましては、ご多用中にもかかわらずご協力いただきましてありがとうございました。皆様からいただきましたご意見を集約いたしましたので、お知らせいたします。

保護者の皆様からいただきました貴重なご意見・ご感想をもとに、小串小教育の一層の充実を図ってまいります。今後ともご協力のほどよろしく願いいたします。

保護者によるふりかえり



小串小学校 年1組 学級通信 NO.53
サン・SUN・輝け！ 年生
 2004年3月11日

学級懇談会要項

1 担任から

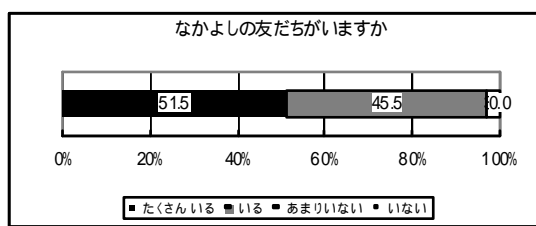
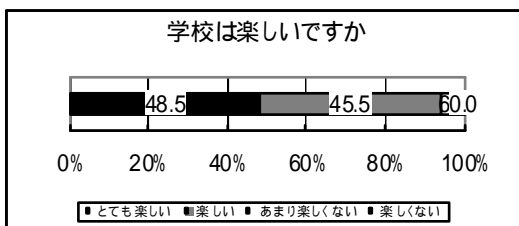
(1) 1年間のお礼

(2) 最近の様子から

- ・生活面（資料1参照）
- ・健康面（資料2参照）
- ・学習面（資料3参照）

(3) 春休みの生活と来年度に向けて

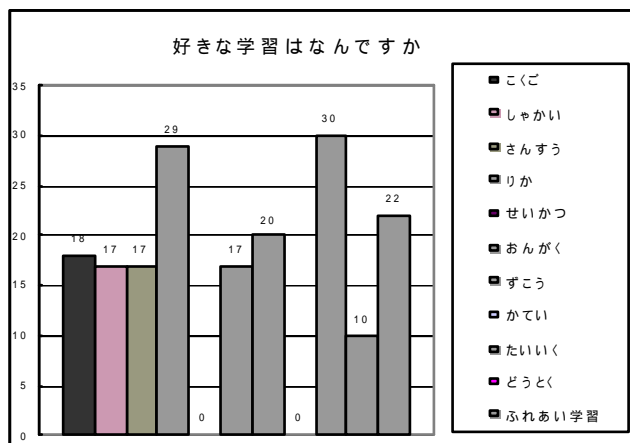
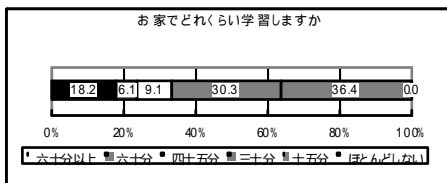
資料1



資料2 年生1年間の欠席数（3月10日現在延べ人数）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	7	9	19	7	11	22	4	8	13	8	4	112

資料3



6 評価結果に基づいた学校運営の充実・改善

(1) 目標の達成状況の診断

吉田小学校では、まず、アンケート結果をグラフで表し、それぞれの項目に対する肯定的な評価の割合が80%以上であることを目標の達成基準として、達成状況を診断した。

達成できている。
 おおむね達成できている。
 あまり達成できていないし、
 達成できていない。

(吉田小学校の例) 80%				
(1) 学校教育目標、めざす学校像、めざす子ども像について 校務分掌の指導計画に基づいて、組織的に教育目標の達成に向け、具体的な取組みをしている。 めざす子ども像の具現化のため、具体的で積極的な子どもや親への働きかけをしている。 話す・聞くの学習の基本が身に付いている。 元気よく明るいあいさつができる。 ありがとうと言える。				
(2) 学級目標について 子どもの実態に応じて、目標を具体化し計画的に学級づくりを行っている。 子どもの平素の活動の中に、学級目標具現の様子がみられる。 親身になって子どもに接している。				
(3) 各教科学習について ねらいを明確にし、教えること・考えることをはっきりさせて授業を行っている 導入や展開等において、子どもの意欲を高めるための工夫をしている。 操作活動等を取り入れ、学習内容が子どもにイメージされ、分かりやすい授業を行っている。 個に応じた指導の工夫をし、基礎・基本の徹底を図っている。 子どもの表現力を高める授業づくりをしている。				
(4) 総合的な学習について 年間活動計画をもとに、見通しをもって取組みを進めている。 地域素材の教材化、地域人材の積極的な活用を図り、学習成果が上がっている。 自己評価、相互評価を工夫するとともにポートフォリオ評価を実践している。 図書館やコンピュータ等を活用し、情報活用・処理ができるように指導の工夫を行っている。				
(5) 道徳教育について 授業時数が確保され、体験的な学習を取り入れるなど、指導の工夫をしている。 心のノートを工夫して活用している。				
(6) 生徒指導について 学校のきまりや生活目標が教職員で共通理解され子どもに対する指導が徹底されている。 児童理解に努め、子どもの悩みに積極的に対応している。				
(7) 人権教育について 年間計画に基づき、学習を進めている。 すべての教育活動(学級)で、男女平等の意識を高め、子どもたちの具体的な変容が見られる。				

(8)健康教育について	80%		
子どもの生活習慣の確立に向けた取組みが効果を上げている。			
(9)安全教育について			
子どもが自分の命を守ることができる指導を行っている。			
(10)学校経営について			
校長は教育理念や学校経営についての考えを明らかにしている。			
学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。			
教職員間の信頼と協力関係を築く努力をしている。			
教職員が意欲的に取り組める環境整備に努めている。			
P T Aや教育後援会等の外部団体の支援を得ている。			

【自由記述から】

- (1) 学校教育目標、めざす学校像、めざす子ども像について
 - ・特に「あいさつ」ができる子を育てたい。
 - ・あいさつができていない。明るいあいさつ、返事のできる子どもの育成に努めなければならない。
 - ・聞く態度が悪い。聞き返しが多い。人が話すときには、きちんと話す人の方を見て聞くという基本的な態度が身に付いていないのが、とても気になる。
 - ・めざす子ども像の共通理解が不十分であった。(低・中・高ブロック等で検討し、職員会で共通理解を図りたい。)
 - ・保護者・地域にも呼びかけ「あいさつ運動」に取り組むことが必要である。
 - ・自分自身が意欲に欠けている面があった。
 - ・ の話す・聞くは具体的な方法を考え指導することが必要。 のありがとうは、日々の指導の積み重ねが必要である。
- (2) 学級目標について
 - ・計画性が今一つ欠けている。
 - ・ の親身になって接するは、まだまだ十分に行っているとは思えない。
- (3) 各教科学習について
 - ・教材の理解が十分でないので、もっと教材研究を行うべきである。
 - ・ の表現力を高める授業づくりをもっと意識しなければならない。
 - ・具体物を取り入れたり、子どもが楽しいと感じることのできる教材の工夫をしたい。
 - ・操作活動を多く取り入れ、子どもの学習意欲を高める努力をしている。
 - ・学習の展開、まとめの段階で、子どもの表現活動が十分行っていないので、改善しなければならない。
 - ・個別指導をもっと行うことが必要である。
- (4) 総合的な学習について
 - ・ の地域素材の教材化、人材の活用については、もっと考えることが必要である。
 - ・ のコンピュータ等の活用については、毎回のことではないので、導入できる場面を考えていくことが大切だと思う。
- (5) 道徳教育について
 - ・道徳の時間、心のノートはいつも机の上に置くようにしている。
 - ・総合的な学習の時間や行事と関連付けて計画を立てておくとよい。
- (6) 生徒指導について
 - ・気になる子どもについて、本人・保護者と親身になって話し合っている。
 - ・最近、まじめに掃除をする子が増えてきたが、まだまだ本気でやっているとは思えない。働く子を育てたいと思う。
- (7) 人権教育について
 - ・教職員の人権意識の高揚に努める必要がある。
 - ・女子が男子を小ばかにしている雰囲気を取り除きたい。
 - ・年間計画に基づいて学習を進めている。
- (8) 健康教育について
 - ・うがい、手洗い、食後の歯磨きが習慣化できている。
- (9) 安全教育について
 - ・自転車用ヘルメットの着用、防犯ブザーの携行により、安全意識が身に付いている。
- (10) 学校経営について
 - ・毎月の職員会議の時にも、校長の教育理念などの話が聞きたい。
 - ・職員それぞれが、自分の任務を忠実に遂行しなくてはならないというもっと強い自覚が必要ではないだろうか。

(2) 診断結果を踏まえた学校運営の充実・改善

次に、肯定的な評価の割合が80%に満たない項目について、今後どのように改善していくかを話し合った。

ア 協議内容

評価項目	改善点等
<p>(1) めざす子ども像について</p> <p>校務分掌の指導計画に基づいて、組織的に教育目標の達成に向け、具体的な取り組みをしている。</p> <p>めざす子ども像の具現化のため、具体的に積極的な子どもや親への働きかけをしている。</p> <p>話す・聞くの学習の基本が身に付いている。</p> <p>元気よく明るいあいさつができる。</p> <p>ありがとうと言える。</p>	<p>は(2)の学級目標にも関係があるが、来年度までに新しい形式の学級経営案を作成する。この学級経営案には、めざす子ども像(本年度の重点目標) 学級目標 具体的方策 評価改善策と一連のつながりをもたせる。 [1] (教務)</p> <p>低・中・高の各ブロックで検討し、職員会議で学校目標・めざす学校像・めざす子ども像の共通理解を図る。 [2] (教頭)</p> <p>・ については、授業の中で、話し方の練習や学級の支持的風土が必要である。学級活動の話し合い活動にも力を入れる。</p> <p>については、児童会で取り組みたい。学校だより等で、保護者や地域に呼びかける必要がある。 [3] (特活部、教頭)</p>
<p>(2) 学級目標について</p> <p>子どもの実態に応じて目標を具体化し、計画的に学級づくりを行っている。</p> <p>子どもの平素の活動の中に、学級目標具現の様子が見られる。</p> <p>親身になって子どもに接している。</p>	<p>・ 発表の時の声が小さい。きちんと返事ができない。また、言葉遣いが悪い等の問題がある。指導を要する。</p>
<p>(3) 各教科学習について</p> <p>ねらいを明確にし、教えること・考えることをはっきりさせて授業を行っている。</p> <p>導入や展開等において、子どもの意欲を高めるための工夫をしている。</p> <p>操作活動等を取り入れ、学習内容が子どもにイメージされ、分かりやすい授業を行っている。</p> <p>個に応じた指導の工夫をし、基礎・基本の徹底を図っている。</p> <p>子どもの表現力を高める授業づくりをしている。</p>	<p>・ 4年の筆算のやり方が以前と変わっていて、なぜ変わったのか、どういうメリットがあるのか、よく理解できなかった。しかし、雑談の中で他の職員と話し合うことにより、理解できた。また、学年間の縦のつながりも見えてきた。</p> <p>、 については、よい方法があれば、出し合ったらよいと思う。校内研修会の時に話し合う時間を設ける。 [4] (研修主任)</p>

<p>(4) 総合的な学習の時間について 年間活動計画に基づき、見通しをもって 取組みを進めている。</p> <p>地域素材の教材化、地域人材の積極的な 活用を図り、学習成果が上がっている。</p> <p>自己評価、相互評価を工夫するとともに ポートフォリオ評価を実践している。</p> <p>図書館やコンピュータ等を活用し、情報 活用・処理ができるように指導の工夫を 行っている。</p>	<p>・ については、次回にまわす。</p> <p>については、現在コンピュータが4年以上の教室や図書室 に1台ずつ設置しているなど、バラバラに置かれている状態 なので、まとめて設置した方がよいのかどうか、各校の情報 等を収集して検討したい。 また、フリーソフトを揃えたい。 (視聴覚教育部) [5]</p>
<p>(5) 道徳教育について 授業時数が確保され、体験的な学習を取り 入れるなど、指導の工夫をしている。 心のノートを工夫して活用している。</p>	<p>・ 日課表を決める時に、抜けがちな月曜日に置かないなどの工 夫をして時間の確保をしたい。</p>
<p>(6) 生徒指導について 学校のきまりや生活目標が教職員で共通 理解され、子どもに対する指導が徹底さ れている。 児童理解に努め、子どもの悩みに積極的 に対応している。</p>	<p>生活相談会で月目標の反省をするが、その時に来月の重点目 標についての共通理解を図るようにしたい。(生徒指導部) [6]</p>
<p>(7) 人権教育について 年間計画に基づき、学習を進めている。</p> <p>すべての教育活動(学級)で、男女平等 の意識を高め、子どもたちの具体的な変 容が見られる。</p>	<p>・ 給食の食器集めの時に、女子が男子を差別した態度が見受 けられる。見逃さず、その都度指導したい。</p>
<p>(8) 健康教育について 子どもの生活習慣の確立に向けた取組み が効果を上げている。</p>	<p>家庭への働きかけが必要。朝食の大切さなど、保護者に効 果的に啓発できる方法を検討することが必要。また、給食後 の歯磨きは、事後の確認が大切。 [7] (保健部)</p>
<p>(9) 安全教育について 子どもが自分の命を守ることができる指 導を行っている。</p>	
<p>(10) 学校経営について 校長は教育理念や学校経営についての考 えを明らかにしている。 学校経営に校長のリーダーシップが発揮 されている。 教職員間の信頼と協力関係を築く努力を している。 教職員が意欲的に取り組める環境整備に 努めている。 PTAや教育後援会等の外部団体の支援 を得ている。</p>	<p>・ 職員会等では、教育理念や学校経営について必ず話すように したい。 [8]</p>
<p>(11) その他</p>	<p>・ 金管の練習の問題点および協力体制について話し合う。 ヘルメット着用の経緯および学校の対応の検討。(教頭) [9]</p>

イ 今後の実践項目および課題

1 今後の実践項目

- ・上記の を () 内が担当し、それぞれの期日までに進める。

2 今後の課題および担当

(1) 学校要覧の見直し(保護者にも分かりやすいもの)

- ・参考になる他校の学校要覧を収集する。(校長) 10
- ・職員会議で共通理解を図り、学校要覧の概略案を作成する。(教頭、教務) 11

(2) 外部評価項目の見直し

- ・学校の思いと保護者・地域の思いや知りたいことにズレがあるかもしれないので、PTAの執行部および学校評議員に意見を求め、改善する。(教頭) 12

(3) 行事等の案内文の見直し

- ・案内文にめざす子ども像との関連や見てほしい所など、分かりやすく盛り込めないか。(教頭) 13

(4) 各分掌から出される計画案にPDCAのCAを記入する

- ・昨年度の反省およびそれに基づいた改善点を記入するようにする。その点に関する共通な書式等を決め、共通理解する。(教務) 14

(5) 参観日の有効活用の方法を考える。

- ・幼小連携の研修会でも保護者間のネットワークの希薄さが問題になった。保護者のネットワークづくりの機会となるように工夫できないか。(教務) 15

(6) 3月下旬に学校評価委員会(仮称)を開き、実施状況の反省と来年度の方向付けを行う。(教頭、教務) 16



< 縦割リスマイル班活動(長府小学校) >

ウ 今後の実践項目の進捗状況について（C Aについて）

実践項目	進捗状況
① 新しい形式の学級経営案の作成（教務）	・作成済み（説明及び協議は、来年度当初）
② 学校教育目標・めざす子ども像の共通理解及び決定（教頭）	・校内研修会で協議 （案は職員会議で提示）
③ 元気よく明るいあいさつができる（特活）	・児童会の代表委員会で「あいさつ運動」を実施することを決定。 正門と裏門で毎日実施。担当は、1週間めが6年生、2週間めが4年生、3週間めが5年生。 ・「あいさつ運動」実施後、職員と子どもに「あいさつ運動」の評価を実施。評価を基に、児童会（計画委員会）で、「あいさつ運動」特集号を発行。 ・年度末のPTA総会で、学校評価について説明する時に、あいさつについて家庭での協力をお願いする。
④ 効果的な操作活動・個に応じた指導等を校内研修で出し合う（研修）	・1月の校内研修会から時間を設けて実施する。
⑤ コンピュータを効果的に活用するための配置方法の検討（視聴覚）	・視聴覚主任が先進校を視察。職員会で一カ所にまとめることに決定。準備を進め、3月下旬に配置完了の予定。 ・フリーソフトは収集済み。
⑥ 来月の月目標および重点項目の決定及び共通理解（生徒指導）	・12月の生活相談会から実施。
⑦ 健康教育についての保護者への効果的な啓発（保健）	・検討中。
⑧ 毎月の職員会議の時にも、校長の教育理念等の話が聞きたい（校長）	・実行中。
⑨ ヘルメットの着用の経緯および学校の対応の検討（教頭）	・職員会で共通理解および協議。
⑩ 参考になる他校の学校要覧の収集（校長）	・収集済み。
⑪ 新しい学校要覧の概略案の作成（教頭、教務）	・校内研修会での協議および共通理解の後、作成。
⑫ 外部評価項目の見直し（教頭）	・見直し予定。
⑬ 行事等の案内文の見直し（教頭）	・入学式の案内に一工夫をする。
⑭ 各分掌から出される計画案にPDCAのCAを記入する（教務）	・サンプルを作成する。（何か一つの行事を）
⑮ 参観日の有効活用の方法を考える（教務）	・来年度の参観日の内の1回を一工夫する。
⑯ 3月下旬に学校評価委員会を開き、実施状況の反省と来年度の方向づけを行う（教頭、教務）	・①～⑮までの実施状況の確認および今後の課題の把握。 ・来年度の学校評価のおおまかな全体計画案の作成。 ・外部評価に向けての対象・方法・ステップの確認。 ・今回の学校評価委員会は、校長・教頭・教務・生徒指導で

(3) 中間評価の実施による計画の改善と修正

吉田小学校では、「あいさつ運動」の効果を検証するため、教職員・児童ともに「あいさつ運動」実施前と実施後の変化を4段階で問うことにした。

また、検証の結果の後、次の取組みについても考えた。

ア 質問事項および4段階評価は、以下のとおりである。

教職員：現在の子どもたちの「あいさつ」は、2学期と比べ、どうですか。

子ども：「あいさつ運動」を始めて、あいさつはどうなったと思いますか。

4段階評価 とてもよくなった よくなった 少しよくなった かわらない

イ 評価結果

(とてもよくなった) (よくなった) (少しよくなった) (かわらない)

教職員				
子ども	80%			
1年				
2年				
3年				
4年				
5年				
6年				

ウ 評価経緯を見ての感想および今後の取組み

- ・あいさつ運動には意欲的に取り組んだ。意識付けになった。
- ・まだ声は小さいが、子どもからあいさつの声が出るようになった。遠くから声をかける子どもも増えた。
- ・あいさつ運動終了とともに、子どもからのあいさつが少なくなったように思う。根気よく声かけをしていくことが必要。
- ・子どもたち同士でのあいさつが進んでできるようになるとよい。
- ・ありがとう等の基本的なことにも力を入れ、教師自らが手本となるように学校生活を送ることが大事。

あいさつは、朝だけでなく、日中でも会釈させたらどうだろうか。

4月のスタート時に、また、あいさつ運動を行うとよいと思う。

来年度も定期的にあいさつ運動を行ったり、保護者への啓発が必要。

児童会で「いい学校にするためには、あいさつが必要」等の議題で話し合うことも、意識の向上につながるのではないかと。

毎月1回は、強化日として取り組む。

児童の主体的な活動にするため、アピールの場の設定等の工夫を。

上記のを特活部で検討の上、できることから実行する。保護者への啓発は、年度末PTA総会で行うことにした。

(4) 特別活動(学校行事、児童集会活動等)の充実・改善

前年度の反省に基づいて、より充実した学校行事や児童集会活動等を実施するためには、P-D-C-Aサイクルに基づいた活動計画の充実・改善が必要である。

しかし、学校現場においては教職員の人事異動や校務分掌の改編などで、なかなか前年度の反省を十分に生かした取組みがなされない場合もある。小串小学校では、それを解消するために次のような取組みを行い、学校行事や児童集会活動等の充実・改善を図っている。

ア 次年度の活動計画書は、今年度中に作成する

学校行事等が終わるたびに、次年度の実施計画案を作成してサーバーに保存する。

イ 行事等の反省や改善意見を生かす

行事が終わると直ちに教職員による評価を行う。各自がそれぞれの立場から評価を行い、次年度の改善意見も併せて記載する。担当者は教職員から出された評価を基に次年度の活動の改善・更新計画を立案する。次年度の計画には必ず前年度の反省並びに改善点を記載し、それらを生かした次年度の計画が作成される。

平成17年度「夏のふれあい海祭り」集会を良くするために
(平成16年度実施「夏のふれあい海祭り」集会の反省)

小串小 特活部 平成16年7月20日

	児童の活動の面から	教師の支援の面から
実施時期	適当である。 良かった。	この時期くらいが適当である。
方法	どの子にも、活躍の場があったのは、良かったと思う。	全委員会担当することについては、再考の必要がある。 (その他の項参照)
前日までの流れ	日程的に忙しかっただろうか?しかし、この時期であれば仕方ない。 子どもが主体的になり、良かった。 どの子にも活動の場があったのは、よかった。	各委員会指導者の前日までの指導をありがとうございました。 水泳のため、昼休みの打ち合わせ時間がとれず、また、出張も重なり、委員会の子どもたちを十分に支援することができなかった。
集会当日	スムーズに流れていた。 天候にも恵まれ、時間的にもスムーズに進み、子どもたちも楽しそうで、とてもいい集会になった。 いい天気で、楽しい半日だった。 低学年の子どもたちも大変楽しそうにしていた。 リレーはみんなが楽しそうで良かった。 砂浜アートはもう少し時間をかけ、できた作品をみんなで見合う時間があれば良かった。(2人) 最後に、表示の紙が残っていた。	海で泳ぐとき、海の中には3名いたが、陸からの監視が足りないと思った。役割分担をし、責任をもって見ることが安全につながるであろう。 準備から片付けまでが、集会だと感じた。子どもたちに「こうなってほしい」という願いがあれば、そうなるまで声をかけ、見ておかなければならない。最後の片付けまで、みかじめをするべきだった。 下見の時よりゴミが減っていたので、急きょ集めるゴミの種類を変更した。準備した物が使えなかったこともあったが、委員会の子どもたちは一生懸命に活動していた。

特 別 活 動	
夏のふれあい海祭り	1

全校児童集会「発見！小串 夏のふれあい海祭り」実施計画（案）

小串小学校特別活動部

【前年度の反省（ ）と今年度計画の改善点（⇒）】

委員会ごとの負担が違いすぎた

- ⇒ 何の役割を果たすかは、代表委員会及びその後の委員長会議で話し合いによって決定していた。しっかり話し合い負担が同じくらいになるようにしたい。ただ、がんばる委員会は、委員会の中でアイデアを出し合い、より内容が充実するので、負担も増えると思う。過度な負担になる場合は、各委員会担当の先生の指導にゆだねたい。

もう少し、時間にゆとりがほしかった。（開始時刻・時間配分）

- ⇒ 開始時刻を10分遅らせ、9：00運動場集合とする。
 集合・整列の時間を短縮し、きちんとするときとゆったり遊ぶときのメリハリがつけられるように指導したい。活動時間をむやみに長くしてもだれるので、活動時間帯は、15年度の実際の実施時間配分を参考にして考える。

ゴミ拾いを熱心にする子とそうでない子がいた。

- ⇒ クリーン作戦の意義を各クラスで事前指導する。当日は、チームごとにエリアを決めてゴミ拾いをし、拾ったゴミの量を比べる機会をもつ。

ケガをしそうなゴミがあった。

- ⇒ 前日に下見をしておくとともに、教師も一緒にゴミ拾いに参加し、随時注意をして見ておく。がんぜきなどの準備もしておく。

1 ねらい

集会に楽しく参加し、お互いのよさを知り合うとともに、親睦を深めて学校生活を豊かなものにする。ふれあい班で協力してクリーン作戦やゲームに取り組み、集団の一員としての自覚や所属感を深める。クリーン作戦を実施することにより、地域の環境美化に貢献する。

2 日 時 平成17年7月7日（水） 9：10～11：50 （雨天時）7月14日（水）

3 場 所 大先の浜

4 主な活動例



「はじめの会」



「クリーン作戦」
環境委員会による説明



「サンドアート」
チームで協力して...

7 学校評価の実施による成果と課題

(1) 成果

平成14年3月に制定された、小学校設置基準の中に

自己点検、自己評価を行い、その結果の公表に努めること
積極的な情報提供を行うこと

が盛り込まれ、学校評価は全国の学校での喫緊の課題として模索が続けられている。

下関市立長府小学校、下関市立吉田小学校、豊浦町立小串小学校の3校は、平成15年度（長府小学校は平成14年9月）から、山口県教育委員会の要請を受け、学校評価実践協力校として、「よりよい学校づくりをめざす学校評価の在り方」をテーマに、実践研究に取り組んできた。

ア 学校評価システムの定着

学校評価の実施による成果であるが、まず、第1点として、当初は他県の取組みを参考にして、暗中模索の状況であったが、2年目に入り、よりよい学校づくりの基盤となる学校評価システムが少しずつではあるが定着しつつあることが挙げられる。

具体的には、学校評価の研究実践に取り組むようになって、今まで見えにくかった様々な課題が明確となったことである。そして、その課題を学校の論理のみで押し切っていくのではなく、教職員が前向きに、建設的にとらえ、保護者や地域の方々と共に改善していこうとする姿勢が見え始めた。このような学校としての機能の見直しや教職員の意識改革がこれからの学校教育には必要であり、研究実践を進めてきた最大の成果であると考えている。

イ 保護者や地域住民への浸透

第2点として、情報公開・情報発信を積極的に進めてきたことにより、以前より格段に「学校教育目標」や「学校の教育姿勢・取組み」、あるいは、「学校教育の進展・成果」などが、保護者や地域の方々に浸透してきたことが挙げられる。このことは、今後も保護者等による外部評価をより客観性のある、精度の高いものにしていくために必要不可欠なことであると考えている。

ウ 保護者や地域住民との連携協力の推進

第3点として、保護者や地域住民との連携協力が、具体的な形で動き始めたということである。学校評価を学校改善のための手段として有効に活用していくためには、学校だけの活動ではねらいを達成することは難しく、保護者や地域の方々と連携協力しながら進めていくことで、はじめてそれが可能となる。

長府小学校では学校評価の中から、保護者や地域との連携協力の重要性を再認識し、「長府小校区連携推進会議」や教職員による「地域行事・PTA行事ボランティア制度」を新たに立ち上げ、具体的な活動を通して実践するようになった。

平成15年度末の長府小学校の教職員・保護者・地域の学校評価結果を見ると、一番多かったのは、不審者侵入に対する不安感であった。そこで、年度末から具体策を検討し、本年度より新たに、

門の締め切りを始めとした安全な施設管理の検討

侵入防止のための体制づくりとして、外来者の記帳のみでなく、外来者・教職員の名札の着用

児童及び教職員の対処能力の向上として、CAPや警察による講習会の開催や教職員研修の積極的实施

緊急時一斉下校体制の確立、児童通学路の子ども110番の周知徹底などを具体策として実施した。

このように学校評価が確実に学校経営に反映し、息づいてきていることを見るにつけ、学校評価に取り組んできて本当によかったと思っている。

(2) 課題

次に、課題であるが、実践協力校3校で実践してきて、学校評価の努力点として共通認識した3つの観点について、今後も充実、深化、そして改善を加えていかなければならないと考えている。

学校評価の努力点

P-D-C-Aサイクルに基づく学校評価システムの定着

学校評価の積極的導入と改善（見つめる・生かす）

情報公開・情報発信の進展（知らせる）

地域や保護者との連携（共に語る・汗を流す）

また、組織上の問題点として、評価委員会の機能を十分に発揮しながら、全教職員が学校全体の視野から自分たちの問題としてとらえていけるよう、教職員の意識の向上を図る手だてを工夫する必要がある。

さらに、学校評価の信頼度という点においては、サンプル数と全体の相関関係などの統計上のことについても今後研究を進めていく必要があると考えている。

3校は、平成15年度から学校評価の実践研究を進めているわけであるが、学校評価はそれ自体が目的ではなく、あくまで学校改善に生かされないと意味がないと考えている。客観性のある学校評価をいかに構築し、よりよい学校づくりのためにどのようにそれを生かしていくかの道筋がP-D-C-Aサイクルに基づく学校評価システムであり、3校のめざしているものである。

今現在、学校や教職員の力だけでは子どもたちの健やかな成長を図ることは難しくなっている。地域の学校であることや家庭や地域社会と共に子どもたちを育てるということを再認識し、学校評価を効果的に活用していくことが、これからの学校教育には欠かせないことであると考えている。

3校は取り組み始めて2年目であり、まだまだ緒に就いた段階である。これからの課題の方が多く、たくさんの方々の御指導をいただきながら今後も実践研究を推進していきたいと思っている。また、実践協力校として、特別なことをしたわけでもなく、どの学校においても少し努力すればできるような実践事例が提供できれば幸いである。